

(令和元年度)
学校自己評価書

園番号	園名

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価		評価の観点・理由	課題及び改善方策
I 教育活動に関するもの	(1) 教育目標・教育計画	① 教育目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> 園の教育目標「心身ともに健康でたくましく生活できる幼児の育成」を目指し、年間計画を作成し、教育活動の評価をする。 園児の「生き抜く力育む」を教育ビジョンに掲げ保育内容の創造を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間教育計画を作成し、どのような保育を進めていくかを職員全員で検討し、取り組み、その都度反省・評価をしてきたことが、次年度への課題を見いだすことにつながった。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画に基づいて幼児の園生活や遊び、行事など、教育目標を達成できているか。 保護者は、「子どもは、楽しく幼稚園生活を送っている。」の設問に100%が肯定的に回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度に向けて本年度の総括を行い、課題を明らかにする。特に、年間の教育計画の見直し教育目標を達成するための方向性を明らかにする。
		② 教育計画の作成						
		③ 教育課程の編成						
		④ 教育活動の評価						
	(2) 教育内容・保育指導	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の指導計画の見直し、学年ごとに計画を立案する。 園の研究主題に基づいた指導内容の工夫をする。 日々の記録をもとに幼児の姿を捉え、発達の時期に応じた環境構成や援助を明確にし、指導計画につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の記録をもとに、幼児の実態を情報交換し合う場や時間の確保に努めたことで、小規模園ならではの園全体で幼児理解に取り組むことが出来た。また、様々な角度から指導の方法を学んだり、保育内容の工夫につながったりした。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者は、「幼稚園では、基本的な生活習慣を身に付けるよう、適切な教育が行われている。」の設問に100%、「幼稚園では、命を大切に心や社会のルールを守る指導が適切に行われている。」の設問に100%が肯定的に回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> 小規模園の良さと課題を明確にし、保育内容の創意工夫をする。
		② 保育内容の精選						
		③ 指導方法の工夫改善						
		④ 評価						
	(3) 園行事	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 園・家庭・地域がつながる園行事を計画し、幼児の生活が豊かになるようにする。 行事を通して、保育園とのかかわりをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園や小学校との交流をもったことで、より多くの友達とかかわることができ、遊びに活気がみられた。また、いろいろな人の思いに気付く機会となった。 地域とのかかわりでは、優しさや温かさに触れることができ、幼児の心がより豊かになってきている。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 「子どもは幼稚園の行事を楽しみにしている。」の設問に100%が肯定的に回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事ごとに何が幼児の成長につながるのかを見極め、行事の精選を行う。
		② 行事内容の精選						
	(4) 人権教育	① 人権教育指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 自分も友達も大切に、仲間と楽しく遊ぶ子ども集団を作る。その場その場で一人一人の思いに寄り添い丁寧な指導を積み重ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報交換し合い、幼児理解に努めた。友だちの気持ちを理解し共に心を通わすことができるような指導を積み重ねてきたことで、相手の思いに気付き気持ちよく生活できるようになってきている。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者は、「幼稚園では、命を大切に心や社会のルールを守る指導が適切に行われている。」「やさしさやいたわりの気持ちが育ってきた。」の設問に100%が肯定的に回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の幼児の姿をきめ細かく見取り、記録をとりながら内面を探っていく。また保護者には、幼児の日々の姿を具体的に知らせ集団での学びや育ちを伝える。
		② 保育内容の精選						
		③ 指導方法の工夫改善						
	(5) 生徒指導	① 組織的な指導	<ul style="list-style-type: none"> 報告・連絡・相談・確認を綿密に行う。 一人一人の幼児の思いに寄り添う。 保護者の思いや願いを十分に聞く。 適切に実態を把握し、必要な場合は連絡をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼や職員会議で幼児についてや保護者の思いや願いを報告し職員全体でかかわってきた。職員の思いや考えを出し合うことで指導方法を見い出すことができた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 幼児一人一人の様子を十分把握できているか。 園全体の問題として取り組んでいるか。 保護者が不安に思っていることを園側に話せる雰囲気や環境をつくっているか。 「幼稚園では、命を大切に心や社会のルールを守る指導が適切に行われている。」の設問に100%が肯定的に回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も幼児の様子や言動を大切に、いじめの糸口を見逃さないようにすることが必要である。 保護者や幼児に集団として必要な事、道徳心を今、身に付けなければならないことを知らせていく必要がある。
		② 教育相談・幼児理解						
		③ 家庭との連携						
		④ 関係諸機関との連携						
		⑤ いじめ・児童虐待問題について	<ul style="list-style-type: none"> 対処方針や指導計画が明確である 日頃より実態把握・早期発見に努めている 各学級の状況を園組織として共有できている 保護者や地域と連携できている 組織的に迅速に対応する体制が整備されている 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の小さな信号も見逃さず、気になることがあればすぐに報告・連絡・相談をし、職員が一丸となって手立てをするように努めてきた。 	B			
					A			
					A			
					A			
	(6) 特別支援教育	① 推進体制	<ul style="list-style-type: none"> 園児の持っている力を十分に発揮して充実した生活が送れるようきめ細かな配慮をする。 保護者と連携し、ゆっくりと育つ幼児の姿を共に見守り集団の中の一人ひとりの力を発揮していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団の中で子どもが安心して過ごせるような環境づくりや子ども同士のつながりが少しずつ深まるような保育の工夫をしてきたことで、助け合ったり見守ったりなど、クラス全体の育ちへと繋がってきた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 発達の実態を把握し、その子に合った指導のありかたを工夫する。 奈良市子ども発達センターや奈良市教育委員会教育相談課、小学校などの関係機関と連携をとりながら特別支援教育を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いに相手を認め合い理解し合う幼児に育つように、また集団の中で一人一人が自己の力を発揮していくように積み重ねていきたい。 関係機関との連携をより一層密にする。
		② 個々に応じた特別支援教育の内容						
③ 指導方法の工夫改善								
④ 家庭との連携								
⑤ 関係機関との連携								

(令和元年度)
学校自己評価書

園番号	園名

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(1) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の職員会議、研修の充実を図る。 ・職員の公務文書の適正化をする。 ・職員の力量を高める。 ・職員の信頼関係を密にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の朝礼等で、職員間の報告・連絡・相談・確認を密にすることで、活動内容を把握し共有することができた。しかし、年々事務分担の量が増し、一人の分担量が多くなり迅速に処理できない状況である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園運営として、職員の適正な配置について迅速に可動するための方策を考える。 ・職員同士が協力し合い、助け合いながら課題検討や克服に向けて取り組んでいるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告・連絡・相談・確認をしっかりと行いながら教職員の信頼関係を築き、何でも話せる雰囲気作りに努める。 ・公務文書を適正にかつ迅速にこなす時間確保が難しい。
		② 園経営目標・方針			A		
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識			B		
		④ 園務分掌等の連携			B		
		⑤ 会議の運営と位置づけ			A		
		⑥ 会議の結果			A		
		⑦ 職場の人間関係			B		
⑧ 園評価の実施	B						
(2) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・主題研究を中心に各種研修や園内研究、公開保育を行い、教育の資質向上を目指す。 園外研修に参加し、学んだことを伝え合い本園の実際の中で生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会に参加する機会を確保したことで教職員の日々の保育に生かされるようになった。 ・公開保育を行い、保育内容の工夫・改善に努めるとともに教職員の資質の向上を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の自己の研修が保育実践に反映されているか。 ・県や市からの研修に、積極的に参加できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の研修を報告する機会がもちにくい。全体に研修したことを広め全員の力量となるようにする。 	
	② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施			A			
	③ 園外の研修への積極的参加			B			
	④ 園外研修内容の報告や伝達			A			
	⑤ 研修成果の普及			A			
(3) 安全管理	① 安全計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画、防災計画を作成し、迅速かつ適切な対応ができるよう、緊急時の連絡体制を整える。 ・幼児を事故、災害、不審者から守り、生命と健康を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察や市の方からのビデオの視聴、パトカーへの試乗など、幼児の安全への意識を大きく高めることが出来た。また、園での避難訓や安全計画に、生かすことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼稚園では、健康管理や安全に対する指導が適切になされている。」の設問に対して、100%の保護者が肯定的に回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理に対する様々な取り組みを発信することで、保護者や地域の協力、また、啓発にも繋げていく。 	
	② 防災計画の立案			A			
	③ 危機管理体制の整備			B			
	④ 安全指導の工夫改善			B			
	⑤ 家庭との連携			A			
	⑥ 関係機関との連携			A			
(4) 保健管理	① 保健計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児や保護者が健康への意識を高められるような機会をもつ。 ・食育を通して、健康な体づくりを推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活実態に応じた「ほけんだより」などを発行したことで、健康や安全に対する意識を高めることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼稚園では、健康管理や安全に対する指導が適切になされている。」の設問に対して、100%の保護者が肯定的に回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が自分の健康について意識がもてるような指導方法を工夫する。 ・食育の管理や昼食時の衛生面を適正にする。 	
	② 心のケアや健康相談の体制の整備			A			
	③ 健康観察、健康管理能力の育成			A			
	④ 関係機関との連携			A			
	⑤ 昼食の衛生管理			A			
(5) 地域との連携	① 園情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域との協力体制を密にする。 ・小学校や保育園との交流を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との交流を持つとともに、地域の出かけて地域遺産に触れる。 ・小学校や保育園との交流を深める。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「小学校との交流は良かった。」との設問に対して、100%の保護者が肯定的に回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のクレインクラブやグリーンクラブの方（高齢者）との交流の仕方を工夫する。 ・これまで通りに、小学校や近隣の保育園との交流を図る。 	
	② 園(保育)公開			A			
	③ 小学校との接続・連携			A			
	④ こ幼保との連携			A			
	⑤ P T Aの活性化			A			
	⑥ 地域教育協議会との連携			A			
	⑦ 学校関係者評価の実施			A			
(6) 施設・設備	① 保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児にとって気持ちよく安全に過ごせるように、環境の整備充実に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動や環境整備で園内を美しくするように努めている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼稚園は、保護者などの協力を得ながら園内を美しくするように努めている。」との設問に対して96%の保護者が肯定的に回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる環境の整備充実に努める。 	
	② 施設設備の有効利用			A			
	③ 施設設備の管理			A			
(7) 情報管理	① 公文書の收受・保管	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理・保護の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データー化が進んでいる中、個人情報の管理についての職員の意識向上を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼稚園では、子どものプライバシーが守られている。」との設問に対して、100%の保護者が肯定的に回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる個人情報の管理・保護の徹底を図る。 	
	② 公文書の作成			A			
	③ 個人情報の管理・保護			A			
	④ 情報の収集			B			